

新津第一中学校区（新津第一小，新津第三小，新津第一中）

【目指す子どもの姿】

人やものと深く関わり，地域を愛する子ども

〈「目指す子どもの姿」の設定の仕方〉

- 1 地域の方から「目指す子どもの姿」の意見を収集した。
- 2 小学校・中学校全職員による合同研修会を開催し，研修会のねらいの共通理解を図った。その上で，グループ別のファシリテーションにより，小中の教育課題や育てたい資質能力を挙げた。
- 3 各グループから挙げた資質能力を精選し，重点化を図った。
- 4 校長・教頭・教務主任・研究主任の検討を通じて，全職員で決定及び共通認識を図った。

◆共通プログラム

- ① 「9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間」における小中一貫した教育としての取組

別紙参照：様式2「各中学校区における小中一貫した教育の取組」

【身に付けさせたい資質能力】

- ・他と関わる力
- ・自ら考えて行動する力

【その実現に関わる方法】

- ・「目指す子どもの姿」を実現するために必要な資質能力を育成するための活動を小学校・中学校それぞれで計画する。
- ・それぞれの計画を持ち寄り，活動内容を共有する。

- ② 「9年間を見通した学習の仕方」の取組

「9年間を見通した学習の仕方」の内容

—新津第一中学校区の学習のきまり—

- 1 背筋を伸ばして姿勢よく
- 2 話す人の目を見て聞く
- 3 まっすぐ手を挙げ 返事は「はい」
- 4 最後まではっきり話す

〈「9年間を見通した学習の仕方」の設定・運用の仕方〉

研究主任が集まり，学校評価などの内容を確認することを通じて，小・中学校の学習における課題を把握した。その上で，小・中学校を通じて子どもたちがどのようにして学習に臨んでほしいのかを検討し，「新津第一中学校区の学習のきまり」原案を作成した。その後，研究主任会によるまとめ(=原案作成)をし，校長・教頭・教務主任・研究主任の検討を通じて，全職員で決定及び共通認識を図った。

そして，平成29年4月に「新津第一小学校・第三小学校・第一中学校学習指導便り」を児童生徒が在籍する全家庭に配布した。

③ 「小中一貫合同研修会」の取組

「小中一貫合同研修会」のねらいや次第・研修内容の概略

1 ねらい

地域の教育課題と職員が育てたい資質能力を、小中職員で明らかにし、**小中職員の意識の共有**，そしてより有効な指導の連続性を図る。

2 次第

(1) 開会の挨拶 新津第三小学校長 間嶋 哲

(2) 人権教育・同和教育に関する講演

「学校における同和教育の進め方」 新潟市教育委員会学校支援課 指導主事 門倉 純一 様

(3) 部会報告 各部からの進捗状況報告

①学習指導部 ②生徒指導部 ③特別活動部 ④総合学習部 ⑤特別支援教育部 ⑥教務部

(4) 拡大版 「気になる子」

①中学校から情報提供

②小学校から中学校へ情報提供

③情報提供を受けて小グループによる意見交換

(5) 閉会の挨拶 新津第一中学校長 本間 正洋

3 研修内容の概略

小学校時代に、様々な問題を抱えていた児童の中学校での様子を共有し、その生徒に対する必要な支援や保護者対応について共通理解を図った。

〈「小中一貫合同研修会」の実施方法の工夫〉

・4年連続で市教委指導主事より人権教育・同和教育に関する講演をしていただくことで、学校における同和教育について共通理解を図ることができた。

・「気になる子」について、情報交換をすることで、今後の生徒本人への有効な指導の手立てや、保護者対応に関して共通理解を図ることができた。

④ 「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の取組

「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」のねらいやメンバー・次第・協議内容の概略

・メンバー 中央ブロック育成会会長，西部ブロック育成会会長，中学校学校評議委員4名

新津第一小学校 P T A会長，校長，生活指導担当教諭

新津第三小学校 P T A会長，校長，生活指導担当教諭

新津第一中学校 P T A会長，校長，教頭，生徒指導担当教諭，学年主任，不登校担当

1 開会の挨拶 新津第一中学校長 本間 正洋

2 各校の児童生徒の様子について

3 小中一貫教育の取組について

4 質疑応答

5 閉会の挨拶 新津第一小学校長 田邊 裕一

〈「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の実施方法の工夫〉

・育成部会長、学校評議員から「地域を愛する子ども」に育って欲しい、という要望を聞くことができ、目指す姿の具現に向け共通理解が図られた。

◆独自プログラム（「目指す子どもの姿」の達成を図る教育活動は◎）

① 何を（取組内容）： ◎小中連携挨拶運動

【ねらい】 1 中学生が小学校で挨拶運動を行うことで、児童・生徒の交流を図る。

2 自ら進んで挨拶できる児童を育成する。

【いつごろ（時期）】 1回目 令和元年7月 2日(火)

2回目 令和2年3月12日(木)

【どのように（取組方法）】

中学生15～20名が両小学校に行き、7：45～8：10の時間帯に挨拶を行う。

② 何を（取組内容）： ◎いじめ見逃し0スクール集会への小学6年生の参加

【ねらい】 1 中学校の「いじめ見逃し0」の取組を小学6年生に知ってもらう。

2 小学生を迎える準備をすることで、中学生の主体性を育成する。

【いつごろ（時期）】 令和元年11月22日(金)

【どのように（取組方法）】

両小学校から15名程度の6年生が中学校の「いじめ見逃し0スクール集会」に参加し、集会後の感想を発表する。

③ 何を（取組内容）： ◎中学校教員と中学生による小学生への陸上指導

【ねらい】 1 専門の指導者が陸上の指導をすることで、技術の向上を図る。

2 小学生、中学生の交流を図る。

【いつごろ（時期）】 1回目 令和元年7月18日(木) 新津第三小学校

2回目 令和元年7月22日(月) 新津第一小学校

【どのように（取組方法）】

陸上部顧問と陸上部の中学生が小学校へ行き、技術指導を行う。

【中学校区における目指す子どもの姿】
 人やものと深く関わり、地域を愛する子ども

【「目指す子どもの姿」を実現するために、生活科・総合的な学習の時間で行う教育活動】

【中学校区における身に付けさせたい資質・能力】

- ・他と関わる力
- ・自ら考えて行動する力

【9年間を見通した学習の仕方】

一新津第一中学校区の学習のきまりー

- 1 背筋を伸ばして姿勢よく
- 2 話す人の目を見て聞く
- 3 まっすぐ手を挙げ 返事は「はい」
- 4 最後まではっきり話す

【独自プログラム】
 「目指す子ども姿」の達成を図る教育活動は◎

- ◎1 小中連携挨拶運動
- ◎2 「いじめ見逃し0スクール集会」への小学6年生の参加
- ◎3 中学校教員と中学生による小学生への陸上指導

新津第一中学校

学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせまるための手立て
3	① 関西と新潟の歴史や文化の違いを学ぶ ② 稲作活動 ③ 防災学習 ④ 新津のまちづくり	・修学旅行で大阪・京都・奈良の歴史や文化を学び、新潟との違いについて考える。 ・田植えや稲刈りを通して米作りの大切さを学ぶ。 ・雪災害が起こる原因や、安全に避難する方法について学ぶ。 ・新津のよりよいまちづくりについて提言する。	・現地の人との関わりを通して、思いやりの気持ちを育む。 ・新津の歴史を学ぶことを通して、地域を愛する気持ちを育む。
2	① 職場体験学習 ② 稲作活動 ③ 防災学習 ④ 修学旅行に向けて	・職場体験学習を通して働くことの大変さや尊さについて学ぶ。 ・田植えや稲刈りを通して米作りの大切さを学ぶ。 ・土砂災害や津波が起こる原因や、安全に避難する方法について学ぶ。 ・関西の事前学習を通して、個人や班の目標を設定し、京都市内班別自主研修の準備をする。	・職場体験を通して、人との関わりを学び、地域を愛する心の育成を図る。 ・関西の探究学習を通し、自ら考える姿勢を育てる。
1	① 校外学習 ② 稲作活動 ③ 防災学習 ④ 職場体験学習に向けて	・少年自然の家でのカレーライス作りやレクリエーションを通して、クラスや班での良好な人間関係を築くことができる。 ・田植え・稲刈り・脱穀を通して米作りの大切さを学ぶ。 ・地震や洪水が起こる原因や、安全に避難する方法について学ぶ。 ・働くことの意義や役割、雇用の現状について学び、職場体験学習の準備をする。	・食育探究学習を通して、健康について考え、周囲への感謝の気持ちを醸成するとともに自分の意思をもつ。 ・稲作体験学習を通して、地域の魅力について考えて力の育成を図る。

新津第一小学校

学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせまるための手立て
6	① 発見しよう佐渡の魅力（修学旅行） ② 新津の魅力再発見（地域学習） ③ 未来予想図（進路・生き方）	・佐渡の伝統文化を学び、報告会を開く。 ・地域のよさを探り、それを広める広報活動をする。 ・様々なキャリアをもつ人たちから話を聞き、理解する。	・佐渡の人や事象との関わりを通して、魅力や課題を発見する。 ・地域の人や事象の良さを多面的に整理分析し、表現する。 ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ。
5	①お米大好き（地域学習） ②ふれあい交流会をしよう（福祉） ③6年生ありがとう集会を成功させよう（生き方・進路）	・世話をし、課題を見付け、解決策を講じていく。 ・お年寄りを招き、実感を伴う他者理解を実践する。 ・お世話になった6年生と一緒に活動する在校生との絆を確かめたり、深めたりする。	・米の収穫に向け、友達や地域の人と関わり共同的に取り組む。 ・地域のお年寄りに関わり、受け入れ、尊重する。 ・在校生や卒業生と関わり、自らの生き方を見直し、自分の生活に生かして実践する。
4	①食育探検隊（地域学習・プチヴェール） ②1/2成人式をしよう（生き方）	・地域の特産物として力を入れているプチヴェールを調べ、その特性や商品活用法を理解し、栽培する。 ・自分自身の成長と周囲への感謝を実感し、発信する。	・地域の人や対象と関わり、気付いた発見、考えなどをまとめ、表現する。 ・親や地域の人との思いと関わり、自らの生き方を振り返り、生活を見直し、希望をもつ。
3	①秋葉山博士になろう（地域学習） ②できることから始めよう（福祉） ③世界の文化を知ろう（国際理解）	・身近な自然とかかわり、その良さを知り、発信する。 ・障がいをもつ人と交流し、実感を伴った他者理解をする ・諸外国の伝統や文化を理解する。	・地域の人や事象との関わりを通して、課題を見付け、活動を設定する。 ・違う立場の人と関わることで、自らの生き方を見直し、自分の生活に生かしていく。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。
2	①とびだせたんけんたい ②生き物ともだち ③じぶんものがたりをつくろう	・地域探検をし、新津の魅力を見付ける。 ・動植物の世話を長期に行い、観察カードを書いたり、収穫をしたりする。 ・自分の生き立ちを調べ、レポートを作る。	・地域の人や事象と関わり、地域の良さを見る目を育む。 ・動植物に深く関わることで、他とは違う視点でその良さに気付く。 ・自分を調べる中で、自分を取り巻く人や地域に感謝や愛情の気持ちをもつ。
1	①あくしゅだいさくせん ②わたしのあさがお ③ようこそ！なかよしランドへ	・学校内の友達や先生とたくさん握手をし、印をもらう ・あさがおを育て、観察カードを書く。 ・就学予定の園児を招待し、楽しい遊びの場を作り、提供する。	・校内の人との交流を通して関わり方の基礎を学ぶ。 ・あさがおを育て、長く関わることで愛情をもつ。 ・次年度学校へ入学する園児を迎えるにあたり、これまでの自分を振り返り、どう関わるかを考える。

新津第三小学校

学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせまるための手立て
6	①修学旅行（会津の歴史や文化） ②地域社会とのふれ合い ③なりたい職業・働く人の生きがい	・学んだことをガイドブックにまとめる。 ・保護者や地域の方にインタビューなどで話を聞く。 ・様々なキャリアをもつ人たちから話を聞く。	・インタビュー活動を通じて、地域の人たちと関わりと共に、地域への働きかけや貢献を考える。 ・なりたい自分の姿を明確にもち、自らを高めていく。
5	①米作りに挑戦しよう ②自然教室で友だちと力を合わせよう ③食についてまとめよう・伝えよう	・世話をし、気付いたことなどを記録する。 ・仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。 ・ファイルを整理し、レポートにまとめる。	・世話をし、気付いたことなどを記録する。 ・仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。 ・ファイルを整理し、レポートにまとめる。
4	①粗大ごみについて調べよう ②地球にやさしいことを考えよう ③1/2成人式をしよう	・ごみ問題の解決に向けた取り組みを実行する。 ・自分にできるエコ活動について考える。 ・感謝の気持ちや自分の成長を発表する。	・身近な環境問題に関心をもち、自ら働きかけを行う。 ・自分を成長させてくれた人たちの存在や思いを知り、その人たちへの感謝を伝える。
3	①石油の里新津 ②緑の里新津 ③鉄道の町新津 ④新津の昔話	・世話をし、気付いたことなどを記録する。 ・仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。 ・ファイルを整理し、レポートにまとめる。	・世話をし、気付いたことなどを記録する。 ・仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。 ・ファイルを整理し、レポートにまとめる。
2	①町たんけん ②野菜のせわ ③できるようになったこと	①質問内容を決めてお店探検に行く。 ②苗を買い、野菜を育てる。 ③生まれてから今までの自分を振り返る。	・自分たちが生活している校区について、お店や公共的な観点から見直し、その魅力を再発見する。 ・作物を育てる難しさを実感し、収穫の喜びを実感する。
1	①がっこうたんけん ②あさがおたねまき ③もうすぐ2年生	①校舎地図を見ながら教室を見つける。 ②朝顔を育てて観察記録を書く。 ③幼稚園児を招待して一緒に遊ぶ。	・植物を育てることや生きものを世話することを学び、共生の感覚を身につける。 ・校内の人・もの・ことに触れ、関わり方を学ぶ。